

「新潟市若年者等の自立に関するアンケート調査」ご協力をお願い

近年、若年者の自立の問題が深刻な社会問題として取り上げられるようになってきました。社会的・身体的に様々な問題を抱え、ひきこもり（※1）やニート（※2）になる若年者が全国的に増加・高齢化していると言われていています。内閣府の平成 22 年 7 月「若者の意識に関する調査」の推計によると、全国でひきこもり状態にある者が 69.6 万人とされています。

新潟市では、平成 23 年に新潟市ひきこもり相談支援センターを開設し、ひきこもっている方の回復と社会参加を目指して相談に対応していますが、現状を把握し今後の市政運営などの基礎資料とするため、皆様のご意見をお伺いするアンケートを実施することといたしました。

新潟市にお住まいの満 20 歳以上 65 歳未満の方から、無作為に 3,000 人の方をお選びし、このたびあなた様に回答をお願いすることになりました。お伺いした内容は、プライバシーに配慮し、コンピュータで統計的に処理しますので、回答者のお名前、ご住所などが公表されることは絶対にございませぬ。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、この調査票にご記入の上、返信用封筒で **平成 27 年 2 月 10 日 (火) まで** にご投函いただきますよう、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

平成 27 年 1 月

新潟市長 篠田 昭

- ※1 厚生労働省「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」では、「様々な要因の結果として社会的参加（義務教育を含む就学、非常勤職を含む就労、家庭外での交遊など）を回避し、原則的には 6 ヶ月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態（他者と交わらない形での外出をしてもよい）」をひきこもりと定義しています。
- ※2 厚生労働省「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」において、職に就いていない若者（無業者）で、「高校や大学に通学しておらず、独身であり、ふだん収入になる仕事をしていない 15 歳以上 35 歳未満の個人（予備校や専門学校などに通学しているものも除く）」をニートと記載しています。

新潟市若年者等の自立に関するアンケート調査

- 1 回答はあて名のご本人がご記入ください。
(無記名ですので、お名前・ご住所を記入する必要はありません)
- 2 この調査は、回答者を無作為で抽出しているため、あて名のご本人の様子がわかりません。万一、ご病気などでお答えいただけない場合は、回答の必要はございません。
- 3 特にことわりのない限り、すべての質問にお答えください。
該当者にだけお答えいただく質問もあります。その場合は次の設問への案内がありますので、それに従ってお答えください。
- 4 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。「その他」を選んだ場合は具体的な内容をご記入ください。
- 5 質問文の終わりに(○は1つ)(○はいくつでも)などのことわり書きがあります。これはお答えいただく数を意味します。
- 6 調査内容で不明な点等がございましたら、以下にお問い合わせください。
新潟市 福祉部 福祉総務課
(電話) 025-226-1169 (直通)
(受付時間) 月曜～金曜 午前8時30分～午後5時15分

平成27年2月10日(火)までにご投函をお願いいたします。

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

1 男性	2 女性
------	------

問2 あなたがお住まいの区はどちらですか。(○は1つ)

1 北区	3 中央区	5 秋葉区	7 西区
2 東区	4 江南区	6 南区	8 西蒲区

問3 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

1 20～24 歳	4 35～39 歳	7 50～54 歳
2 25～29 歳	5 40～44 歳	8 55～59 歳
3 30～34 歳	6 45～49 歳	9 60～64 歳

問4 あなたの世帯構成は次のどれに当たりますか。(○は1つ)

1 単身 (1人世帯)	4 三世代世帯
2 夫婦のみの世帯	5 その他
3 二世帯世帯 (親と子どもからなる世帯)	

問5 あなたのお住まいの形態は次のどれに当たりますか。(○は1つ)

1 持ち家 (一戸建て・共同住宅含む)	3 社宅・官舎・寮
2 賃貸住宅 (一戸建て・共同住宅含む)	4 その他

問6 あなたの現在の暮らしの状況を総合的に見てどう感じていますか。(○は1つ)

1 ゆとりがある	4 苦しい
2 ややゆとりがある	5 大変苦しい (困窮している)
3 普通	

問7 あなたの就業状況は次のどれに当たりますか。(○は1つ)

1 常勤 (正社員、会社役員など)	→ 問12へ
2 非常勤 (パート、アルバイト、嘱託、臨時職員など)	
3 自営業	
4 専業主婦・主夫	
5 学生	
6 無職・その他 ()	

問7で「6 無職・その他」を選んだ方のみ、次ページ問8～11にお答えください。

問8 あなたは今までに働いていたことはありますか。(○はいくつでも)

- 1 正社員として働いていた
- 2 契約社員として働いていた
- 3 派遣社員として働いていた
- 4 パート、アルバイト（学生時代の経験は除く）として働いていた
- 5 働いたことはない

問9 あなたは現在、働くことを希望していますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------------------|---|----------|
| 1 希望し就職活動をしている | → | 問11へ |
| 2 希望しているが就職活動はしていない | | |
| 3 働くことを希望していない | → | 問10、問11へ |

問10 あなたが現在働いていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 1 病気・けがのため | 8 資格試験等の準備のため |
| 2 メンタル的な問題・不安がある | 9 年金や資産で生活している |
| 3 希望する職種がない | 10 家族からの経済的支援がある |
| 4 就職活動の方法がわからない | 11 家族の育児・介護等のため |
| 5 どんな仕事につけばいいのか
わからない | 12 特に理由はない |
| 6 働く意欲がわからない | 13 その他 () |
| 7 知識・能力に自信がない | |

問11 あなたが今後やってみたい職種はどれですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1 飲食（レストランなど） | 8 製造 |
| 2 販売 | 9 農業・漁業 |
| 3 サービス（警備員、清掃など） | 10 建築・土木・建設 |
| 4 レジャー（イベントスタッフなど） | 11 IT・コンピュータ |
| 5 営業 | 12 医療・介護・福祉 |
| 6 事務 | 13 その他 () |
| 7 物流・配送 | |

ここからはすべての方がお答えください。「ひきこもり」についてお尋ねします。

問12 以下の(1)～(3)についてあなたはご存じですか。(○はそれぞれ1つ)

	知っている	知らない
(1)「ひきこもり」という言葉を知っていますか。	1	2
(2)「ひきこもり」とは「仕事や学校に行かず、かつ家族以外との交流をほとんどせずに、6か月以上続けて自宅にひきこもっている状態」のことであるということをご存知ですか。	1	2
(3)上記(2)の状態で、「時々買い物などで外出することもある」という場合も「ひきこもり」に含めるということをご存知ですか。	1	2

(参考)

厚生労働省「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」では、「様々な要因の結果として社会的参加（義務教育を含む就学、非常勤職を含む就労、家庭外での交遊など）を回避し、原則的には6ヵ月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態（他者と交わらない形での外出をしてもよい）」をひきこもりと定義しています。

次にあなた自身の状況についてお尋ねします。

問13 あなた自身が、前ページ問12(2)のひきこもりの定義「仕事や学校に行かず、かつ家族以外との交流をほとんどせずに、6か月以上続けて自宅にひきこもっている状態」にあてはまりますか。

※ ただし、重度の病気やけがなどの身体的な状況により外出できない場合を除きます。(○は1つ)

1 あてはまらない → 問15へ

2 あてはまる

3 時々買い物等で外出することもあるが、あてはまる

問14 問13で「2 あてはまる」「3 ときどきは買い物等で外出することもあるが、あてはまる」に○をつけた方にお聞きします。

その状態になってから現在まで、どのくらいの期間になりますか。

(○は1つ)

1 6か月以上～1年未満

2 1年以上～3年未満

3 3年以上5年未満

4 5年以上10年未満

5 10年以上

次にあなたのご家族の状況についてお尋ねします。

問15 あなたと同居しているご家族が、問12(2)のひきこもりの定義「仕事や学校に行かず、かつ家族以外との交流をほとんどせずに、6か月以上続けて自宅にひきこもっている状態」にあてはりますか。

※ ただし、重度の病気やけがなどの身体的な状況により外出できない場合を除きます。(○は1つ)

1	あてはまらない	→	問17へ
2	あてはまる		
3	時々買い物等で外出することもあるが、あてはまる		

問16 問15で「2 あてはまる」「3 ときどきは買い物等で外出することもあるが、あてはまる」に○をつけた方にお聞きします。

そのご家族の現在の年齢についてお選びください。

(複数いらっしゃる場合、○は複数可)

1	小学生・中学生
2	10歳代(中学校卒業後)
3	20歳代
4	30歳代
5	40歳代
6	50歳代
7	60歳～64歳
8	65歳以上

次にあなたのまわりの方の状況についてお尋ねします。

問17 近所の人や市内の親戚・知人が、問12(2)のひきこもりの定義「仕事や学校に行かず、かつ家族以外との交流をほとんどせずに、6か月以上続けて自宅にひきこもっている状態」にあてはまりますか。

※ ただし、重度の病気やけがなどの身体的な状況により外出できない場合を除きます。(○は1つ)

1 あてはまらない	→ 問19へ
2 わからない	
3 あてはまる	
4 時々買い物等で外出することもあるが、あてはまる	

問18 問17で「3 あてはまる」「4 ときどきは買い物等で外出することもあるが、あてはまる」に○をつけた方にお聞きします。

その方の現在の年齢についてお選びください。

(複数いらっしゃる場合、○は複数可)

1 小学生・中学生
2 10歳代(中学校卒業後)
3 20歳代
4 30歳代
5 40歳代
6 50歳代
7 60歳～64歳
8 65歳以上
9 不明

ここからはすべての方がお答えください。

相談支援機関や相談先についてお尋ねします。

問19 あなたは(1)～(18)についてご存知ですか。また、利用や相談をしたことはありますか(〇はそれぞれ1つ)

		利用・相談 したこと がある	知っている が利用・相 談したこと はない	知らない
新潟市の 相談支援 機関・ 相談先	(1) 新潟市ひきこもり相談支援センター	1	2	3
	(2) 各区役所・地域保健福祉センター	1	2	3
	(3) 新潟市こころの健康センター	1	2	3
	(4) 新潟市児童相談所	1	2	3
	(5) 新潟市教育相談センター、教育相談室	1	2	3
	(6) 新潟市の中学校に配置しているスクールカウンセラー	1	2	3
	(7) 新潟市若者支援センター「オール」	1	2	3
	(8) 新潟市パーソナルサポートセンター	1	2	3
	(9) 新潟市障がい者基幹型相談支援センター	1	2	3
	(10) 新潟市障がい者就業支援センター(こあサポート)	1	2	3
	(11) 新潟市発達障がい者支援センター(JOIN)	1	2	3
その他 の機関・ 相談先	(12) ハローワーク新潟ときめき仕事館(若者しごと館・わかものハローワーク新潟)	1	2	3
	(13) 新潟地域若者サポートステーション	1	2	3
	(14) 新潟市社会福祉協議会(新潟市障がい者生活支援センター、心配ごと相談所など)	1	2	3
	(15) 各区社会福祉協議会	1	2	3
	(16) 民生委員・児童委員	1	2	3
	(17) NPO、民間のひきこもり支援団体やカウンセリングルームなど	1	2	3
	(18) 医療機関(ひきこもり外来や病院、診療所、クリニックの精神科・心療内科等)	1	2	3

最後にあなたご自身の状況についてお尋ねします。

問20 以下の(1)～(7)について、あなたご自身の状況に最も近いものに○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

	あてはまる	少しあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
(1) 家族の間でよく話をしている	1	2	3	4	5
(2) 近所づきあいを大事にしている	1	2	3	4	5
(3) 地域の行事や自治会・町内会等の地域活動に参加している	1	2	3	4	5
(4) 趣味や生きがい、生活上の楽しみがある	1	2	3	4	5
(5) 悩みや困りごとを相談できる家族や知人がいる	1	2	3	4	5
(6) 人づきあいが苦手である	1	2	3	4	5
(7) 自宅、自室以外に安心できる居場所がないと感じる	1	2	3	4	5

問21 ひきこもりに関する課題や新潟市の取り組みについて、ご意見やご要望がありましたら自由にお書きください。

質問は以上で終了です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。